

令和元年度 公益社団法人坂東市シルバー人材センター事業報告

令和元年度は、国において進められている「働き方改革」により、今後の社会においては、高齢者の活躍推進が大きく求められおり、この中で「シルバー人材センター事業」は、高齢者の就労促進に向けた事業として、大きな役割を担ってきております。

このような中、茨城県及び坂東市等の各関係機関のご協力により、受託事業及び派遣事業の拡大を図って参りました。

事業状況について、シルバー人材センターの普及啓発と会員の増加を目標に取り組みましたが、社会情勢の影響もあり、会員数7名の減少となりました。今後は、全国的に取り組んでいる会員増加計画に向けて、新規会員の加入促進に努めて参ります。また、主な事業である受託事業及び派遣事業は、前年比契約額で約13,000千円の減となりました。雇用環境の変化により受注が厳しい状況であったこと。また、年度後半には、新型コロナウイルスの影響もあり、公共事業を中心として受注の減少が見られたことによるものです。

全体的には、全年度の発注額を下回ったものの成果については、公共機関・市内各事業所・市民等において、当該シルバー人材センターへのご理解と信頼、実績について一定の評価をみる事ができました。また、運営の面では、坂東市当局等のご協力もあり、健全財政を維持しており、今後も公益法人として地域社会に貢献できる組織を目指し、信頼される事業運営を推進して参りました。

今後も、シルバー人材センターの理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、シルバー会員の方々が積極的に参加できるセンターを目指して参ります。

事業報告

1. 会員の状況

項目	男性	女性	合計
30年度末会員数	314	178	492名
元年度内入会者	23	11	34名
元年度内退会者	29	12	41名
元年度末会員数	308	177	485名

会員数について7名減少し、年度末会員数485名となっています。

尚、入会説明会には49名が参加し、内34名の方に入会いただきました。

2. 事業実績（請負及び派遣事業合計）

項目	30年度実績	元年度実績	前年比
受注件数（件）	2,582	2,573	△9
受注金額（円）	231,937,835	218,089,755	△13,848,080
就業延人員	46,733	44,100	△2,633
就業実人員	381	356	△25
就業率	77.4%	73.4%	△4%

3. センター運営関係

○公益法人立入検査実施（11月） 検査員：茨城県労働政策課

公益法人認定法により、3年毎に行われる検査であり、定款や事業計画に基づき適正な法人運営がなされているか書類の確認および、事務局長・職員とのヒアリング実施。

【指導結果】－主な指摘事項なし

○経理事務指導実施（11月） 指導員：茨城労働局

センターの事務事業について、適正に取扱われているか各種会計帳簿・支払関係証拠書類についての確認及び指導が行われた。

【指導結果】－主な指摘事項なし

○各種研修会等への参加

公益法人運営およびシルバー事業実施について、各種研修会に参加し、適正なセンター運営に努めた。

- ・ 4月 公益法人会計処理説明会（公益法人協会）
- ・ 7月 第1回事務局長会議（県シ連）
- ・ 7月 シルバー派遣事業会議（県シ連）
- ・ 9月 税改正研修会（県シ連）
- ・ 11月 請負業務実務者研修会（県シ連）
- ・ 11月 中堅職員研修会（県シ連）
- ・ 11月、2月 県西ブロック研修会（県西ブロック）
- ・ 1月 第2回事務局長会議（県シ連）
- ・ 2月 派遣事業責任者会議（県シ連）

4. 安全就業の推進

安全委員会を組織し、シルバー会員の安全意識の向上と、就業時の事故防止を提示して、活動を行う。今後もシルバー会員の健康管理も含めた、就業時の事故ゼロを目指すとともに、交通安全対策についても継続して努める。

【令和元年度の主な活動】

- ・ 6月 交通安全講習会開催（総会時）
- ・ 7月 県シルバー人材センター安全就業推進大会参加

【令和元年度の事故発生状況】

- ・ 傷害事故 1件
- ・ 賠償事故 1件

5. その他

毎年開催しているボランティア活動を実施し、地域との連携を深めると共にシルバー人材センターのPRに努めた。

○4/7 古城まつり清掃ボランティア活動実施